

芸閣

～図書館だより～

第8号
2019年12月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



なぜクリスマスツリーを飾るの？

クリスマスツリーはなぜ飾られるのでしょうか。みなさんは知っていますか。はるか昔からの風習ですから、いろいろな説がありますが、そのうちの一つを紹介しましょう。

ツリーはドイツから広まったとされています。紀元722年12月24日。伝道師が樅の木の生贄にされそうになった少年を救い、樅の木を倒すと、その傍らにもみの木の若木が生えていたのです。このもみの木を少年の自宅に運んで飾ったのでした。

もみの木は枝の様子が十字架に似ていることと、常緑樹で1年中枯れないことから、永遠の命という意味があります。ろうそくは、世の光であるキリストを迎える意味を表し、りんごは北欧では幸福の象徴です。てっぺんの星はベツレヘムの星であり、ベルは喜びの訪れを告げる象徴とされています。



図書館講座のお知らせ

おすすめの本を紹介しよう！

日時 12月25日(水) 13時から15時ぐらい
場所 桐蔭図書館
内容 グループに分かれて、おすすめの本を紹介
その本のポップを作成

中学生後期図書委員、高校1・2年生後期図書委員は
全員参加です。

紹介したい本を持って集合してください。

POPを書くための、お気に入りのペン等があれば、
持参してください。



新着図書を紹介

日本の小説

- 『人間』 又吉直樹 著 毎日新聞出版
『待ち遠しい』 柴崎友香 著 毎日新聞出版
『空より高く』 重松清 著 中央公論新社
『勿忘草の咲く町で』 夏川草介 著 KADOKAWA
『長い長い殺人』 宮部みゆき 著 光文社
『ソードアートオンライン23』
川原礫 著 KADOKAWA



外国文学

- 『IT』 1～4 スティーヴン・キング 著 文藝春秋

社会科学

- 『女子のための「手に職」図鑑』
華井由利奈 著 光文社
『最低賃金 生活保障の基盤』
日本弁護士連合会貧困問題対策本部 編 岩波書店
『「孤独な育児」のない社会へ』
神原智子 著 岩波書店
『ダイエット幻想 やせること、愛されること』
磯野真穂 著 筑摩書房
『韓国併合110年後の真実』 和田春樹 著 岩波書店

歴史

- 『中華の成立 唐代まで』 渡辺信一郎 著 岩波書店
『はじめての三国志』 渡邊義浩 著 筑摩書房
『はじめての日本古代史』 倉本一宏 著 筑摩書房
『沖縄県の歴史散歩』 山川出版社

その他いろいろ……

- 『やまと尼寺精進日記』 1・2 NHK出版
『ネット検索が怖い ネット被害に遭わないために』
神田知宏 著 ポプラ社
『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』
名越康文 監修 サンクチュアリ出版
『思わず考えちゃう』 ヨシタケシンスケ 著 新潮社
『AIの時代と法』 小塚莊一郎 著 岩波書店
『子供の名前が危ない』 牧野恭仁雄 著 ベストセラーズ
『生きかたルールブック』
斎藤孝 監修 日本図書センター
『哲学と宗教全史』 出口治明 著 ダイアモンド社
『驚異の量子コンピュータ』 藤井啓祐 著 岩波書店
『理科年表2020』 丸善出版
『文化財返還を考える 負の遺産を清算するために』
五十嵐彰 著 岩波書店
『放送の自由 その公共性を問う』
川端和治 著 岩波書店

